

第10回広島西リトルシニア会長旗争奪フレンドシップ野球大会

【大会要綱】

- 1 この大会は特別規定を定め、関西連盟大会規定及び特別規則に基づき実施します。
- 2 試合形式等
 - ① 今大会は投球制限ルールを適用する。(1日7イニング・2日10イニング)
 - ② 試合は7回戦とする。ただし、決勝戦を除き 4回以降10点差・5回以降7点差をもってコールドゲームを採用する。
 - ③ 1日目のリーグ戦は、6球場1位チームの中より勝ち点の多いチームが準決勝進出することができる。
 - ④ コールド勝ち→4点 勝ち→3点 同点→1点 負け→0点
 - ⑤ 勝ち点が同点の場合は、得失点差→最小失点→最多得点→本部で抽選の順で準決勝進出チームを決定する。
 - ⑥ 1日目、7回終了時に同点の場合は引分けとする。
準決勝及び決勝戦は、7回終了時に同点の場合は決着がつくまでタイブレーク(1アウト満塁)を行う。
 - ⑦ 1日目は時間制を採用し試合開始2時間を経過して新しいイニングに入らない。
 - ⑧ 次試合チーム主将は、前試合4回終了後所定のメンバー表4部、試合球3球投球回数シートを本部に提出し審判員(または本部役員)立会いの下で攻守を決定する。
本大会の試合球は各チームから、試合毎に3球用意をお願いします。
(メーカーは問いません)
 - ⑨ 各会場のグラウンドルールは試合前に各会場の審判員より説明する。
シートノックは7分間とする。グラウンド状態によっては、サイドノックとする。
 - ⑩ 次試合のチームの先発バッテリー1組に限り前試合4回終了時【メンバー表交換終了後】からブルペンで投球練習することができる。
 - ⑪ ボールボーイは各2名をお願いします。
 - ⑫ 試合前、試合後のグラウンド整備は両チームの選手で行ってください。
 - ⑬ 決勝戦を含む全試合終了後、30分以内に次試合を開始する。
- 3 審判方法
 - ① 1日目、審判は各チームにて行って下さい。
(1塁ベンチ 主審・2塁 3塁ベンチ 1塁・3塁)
準決勝各1名をお願いします。(1塁ベンチ1塁審判、3塁ベンチ3塁審判)
主審・2塁審判は、広島西リトルシニアにて行います。
決勝戦審判は、広島西リトルシニアにて行います。
 - ② 1塁側チーム BSO・記録をお願いします。
3塁側チーム スコアボード・試合速報入力をお願いします。
 - ③ アナウンスは各チームをお願いします。
 - ④ 審判へのお茶だしは各チームをお願いします。
- 4 雨天の場合はAM5:00までに連絡します。